

I 2015年度 大学評価委員会の評価結果への対応

【2015年度大学評価結果総評】

イノベーション・マネジメント研究センターは、多くの所員が科研費を獲得し、質の高い研究活動と成果の公表が行われている点は、高く評価される。関係各省庁や民間団体からの外部資金の獲得による研究環境のさらなる充実を図り、研究助成金をも活用した国際シンポジウムやセミナーの開催、継続的な図書や資料の充実と公開など、継続的に社会に貢献していくことが期待される。

【2015年度大学評価委員会の評価結果への対応状況】（～400字程度まで）

1. 研究活動として行っている個人研究プロジェクトは一定の評価を得ており、今後も本プロジェクトを元に積極的に外部資金の獲得を目指す。なお、2015年度は民間企業から受託研究を獲得している。
2. シンポジウムやセミナーの開催及び学術雑誌や叢書の刊行等で外部に研究成果を積極的に公表していく。

II 自己点検・評価

1 研究活動

【2016年5月時点における点検・評価】

(1) 点検・評価項目における現状

1.1 研究所の理念・目的に基づき、研究・教育活動が適切に行われているか。

2015年度の活動状況について項目ごとに具体的に記入してください。

①研究・教育活動実績（プロジェクト、シンポジウム、セミナー等）

※2015年度に実施したプロジェクト、シンポジウム、セミナー等について、開催日、場所、テーマ、内容、参加者等の詳細を箇条書きで記入。

1 研究プロジェクト 15件

- ①「産業クラスターの知的多様性とグローバリゼーション —集合知経営の構築—」 洞口 治夫
- ②「マイクロ流通研究会（Ⅲ）」 矢作 敏行
- ③「環境マネジメント手法に関する研究」 北田 皓嗣
- ④「スタートアップ企業の創立、およびその後の発展プロセスにおける影響要因」 福田 淳児
- ⑤「地域活性化研究会」 木村 純子
- ⑥「日仏労働市場の比較」 奥西 好夫
- ⑦「企業家史研究会」 長谷川 直哉
- ⑧「CSR研究会（企業とNPOの協働—歴史、計量、事例による実証分析—）」 長谷川 直哉
- ⑨「スポーツチーム・マネジメント研究会」 荒井 弘和
- ⑩「ブランド・マネジメント研究会」 小川 孔輔
- ⑪「Where do Innovations Come From? A Case Study of Biopharmaceuticals」 シャオ・ジャ・イヨ
- ⑫「ロジスティクス・クラスター研究会」 李 瑞雪
- ⑬「プロスポーツ観戦者におけるチームとの関係性に関する研究」 井上 尊寛
- ⑭「事象アプローチによる会計ディスクロージャーの拡張」 坂上 学
- ⑮「消費者行動とマーケティング戦略研究会」 新倉 貴士

2 シンポジウム、セミナー等 8件

①国際セミナー「日本の育種を世界へもっと発信しよう」【共催】

2015年6月16日 法政大学 ボアソナード・タワー26階 スカイホール

②「Startup Weekend HOSEI（起業体験イベント）」

2015年7月3日～5日 法政大学 ボアソナード・タワー26階 スカイホール

③日本自動車工業会 大学キャンパス出張授業 2015【協力】

「自動車産業に従事して思うこと～経営トップが語る自動車産業の魅力～」

2015年10月22日 法政大学 外濠校舎4階 S405教室

④「Startup Weekend HOSEI uni2015 After Event」

2015年11月7日～8日 法政大学 ボアソナード・タワー25階 研究所会議室5

⑤国際セミナー「シンキング・プリファレンス —リーダーシップへの影響とビジネスにおける

重要性ー」 Individual Thinking Preferences: Impact on Leadership and Why That Matters in Business

2015年12月21日 法政大学 ボアソナード・タワー25階 研究所会議室5

⑥国際シンポジウム「グローバル化するアカデミック・スピノフ」

2015年12月26日 法政大学 ボアソナード・タワー26階 スカイホール

⑦JFMA 新春セミナー・賀詞交換会 お花屋さん活性化セミナー

「農と食の流通を変える～花き流通は？」【共催】

2016年1月11日 法政大学 ボアソナード・タワー26階 スカイホール

⑧倉本長治・初夫文庫開設記念公開セミナー「店は客のためにある」

2016年3月18日 法政大学 外濠校舎6階 薩埵ホール

3 公開講座

「企業家・教育者活動でたどる日本の学校経営ー人づくりの先駆者に学ぶー」

2015年10月17日、2015年11月14日、2015年12月12日 計3回

法政大学 ボアソナード・タワー25階 研究所会議室5

【根拠資料】 ※ない場合は「特になし」と記入。

以下のサイトを参照。

①研究プロジェクト (<http://riim.ws.hosei.ac.jp/research/activities/project.html>)

②シンポジウム、セミナー等 (<http://riim.ws.hosei.ac.jp/research/activities/symposium-2.html>)

③公開講座 (<http://riim.ws.hosei.ac.jp/research/activities/lecture.html>)

②対外的に発表した研究成果（出版物、学会発表等）

※2015年度に刊行した出版物（発刊日、タイトル、著者、内容等）や実施した学会発表等（学会名、開催日、開催場所、発表者、内容等）の詳細を箇条書きで記入。

1 学術雑誌 1冊

イノベーション・マネジメント No.13

2 研究叢書 2冊

①企業家活動でたどるサステナブル経営史ーCSR経営の先駆者に学ぶー

②事象アプローチによる会計ディスクロージャーの拡張

3 ワーキングペーパー 10件

①No.162 ラインマネジャーの人事管理機能に関する研究レビュー

ー英国等における人事管理のラインへの委譲に関する研究文脈に着目してー

佐野 嘉秀 15.04.01

②No.163 理事会の計画機能と監視機能 梅津 亮子 15.05.28

③No.164 Equilibrium Equity Price with Optimal Dividend Policy under Jump-Diffusion

Processes Akira Yamazaki 15.07.09

④No.165 楠 兼敬 オーラル・ヒストリー 松島 茂 編 15.07.14

⑤No.166 高橋清八 オーラル・ヒストリー 松島 茂 編 16.02.08

⑥No.167 小森 治 オーラル・ヒストリー 松島 茂 編 16.03.04

⑦No.168 石井完治 オーラル・ヒストリー 松島 茂 編 16.03.22

⑧No.169 市川英治 オーラル・ヒストリー 宇田川勝・四宮正親・真保智行 編 16.03.24

⑨No.170 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター国際シンポジウム

「グローバル化するアカデミック・スピノフ」講演録

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター 編 16.03.31

⑩No.171 Collective Activities among Individual Agents for Cluster Development under

the Hierarchical Business Structure Kyosuke Inagaki 16.03.31

【根拠資料】 ※ない場合は「特になし」と記入。

以下のサイトを参照。

①学術雑誌 (<http://riim.ws.hosei.ac.jp/research/results/journal.html>)

②研究叢書 (<http://riim.ws.hosei.ac.jp/research/results/publication.html>)

③ワーキングペーパー (http://riim.ws.hosei.ac.jp/research/results/working_paper.html)

③研究成果に対する社会的評価（書評・論文等）

※研究所の刊行物に対して 2015 年度に書かれた書評（刊行物名、件数等）や 2015 年度に引用された論文（論文タイトル、件数等）の詳細を簡条書きで記入。

1. シリーズ公開講座『企業家・教育者活動でたどる日本の学校経営一人づくりの先駆者に学ぶ』には、有料ながら内外の研究者や大学院生の参加を得た。
2. 所員による研究書籍は、学会、学術雑誌等で書評を得ている。なお、確認できただけで、学会発表を含め 55 件に引用されている。

【根拠資料】※ない場合は「特になし」と記入。

- ・特になし

④研究所（センター）に対する外部からの組織評価（第三者評価等）

（～400 字程度まで）※2015 年度に外部評価を受けている場合には概要を記入。外部評価を受けていない場合については、現状の取り組みや課題、今後の対応等を記入。

特に第三者評価は受けていない。年 5 回の運営委員会を実施し、適正な運営を行う。

【根拠資料】※ない場合は「特になし」と記入。

- ・特になし

⑤科研費等外部資金の応募・獲得状況

※2015 年度中に応募した科研費等外部資金（外部資金の名称、件数等）および 2015 年度中に採択を受けた科研費等外部資金（外部資金の名称、件数、金額等）を簡条書きで記入。

所員の科研費の応募は、定年延長者等の特段の事情を除き専任教員に義務付けている。2015 年度に応募した 2016 年度の科研費の獲得は、分担者、基金、補助金を含め所員 33 人中 24 人であり、40 件であった。

また、民間企業から受託研究を 1 件獲得した。

【根拠資料】※ない場合は「特になし」と記入。

- ・特になし

(2) 特記事項

※上記点検・評価項目における 2015 年度新規取り組み事項および前年度から変更や改善された事項等について、簡条書きでそれぞれの概要を記入。ない場合は「特になし」と記入。

内容	点検・評価項目
・特になし	

(3) 現状の課題・今後の対応等（任意項目）

※(1)～(2)の内容を踏まえ、現状の課題および今後の対応等について簡条書きで記入。課題がない場合は「特になし」と記入。

法政大学として平成 26 年度に採択されたスーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」に基づき、当センターでも以下のような国際性の高い事業等に取り組む。

1. 英語による国際セミナーや国際シンポジウム等の実施。また、毎年実施しているビジネスプランコンテストでは、学生の英語による発表を行う。
2. 外国人客員研究員を受け入れ、研究報告会やセミナー等を実施する。

【この基準の大学評価】

イノベーション・マネジメント研究センターは 2015 年度、15 件の研究プロジェクト、8 件のシンポジウム・セミナー等、1 件の公開講座など多くの研究・教育活動実績があり、出版物や学会発表、書評等社会的評価なども十分である。また科研費等の外部資金の獲得状況は所員 33 名中 24 名により 40 件あり、質と量ともに高く評価できる。

今後は国際性の高い事業を企画するなど、大学のグローバル化への対応に配慮しながら社会に貢献していくことが期待される。

2 内部質保証

(1) 点検・評価項目における 2015 年度の現状

2.1 内部質保証システム（質保証委員会等）を適切に機能させているか。

① 質保証活動に関する各種委員会は適切に活動していますか。

【2015 年度における質保証活動に関する各種委員会の構成、活動概要等】 ※箇条書きで記入。

当センター独自のシステムではないが、大学から示された各種方針に基づき、年 5 回開催される運営委員会において内部質保証に関するシステムとして、自己点検・評価活動を履行している。

(2) 特記事項

※上記点検・評価項目における 2015 年度新規取り組み事項および前年度から変更や改善された事項等について、箇条書きでそれぞれの概要を記入。ない場合は「特になし」と記入。

内容	点検・評価項目
・特になし	

【この基準の大学評価】

大学から示された各種方針に基づき、年間 5 回開催される運営委員会内で内部質保証に関する自己点検・評価活動が履行されていると記載されている。しかしながら、資料提出してもらった運営委員会の議事次第では、第 1 回と第 5 回に項目があるのみである。さらに充実した内部質保証活動が期待される。

【大学評価総評】

イノベーション・マネジメント研究センターは、多くの所員が科研費等の外部資金を獲得し、質や量ともに高い研究活動と成果の公表が行われている点で高く評価できる。今後は、国際性の高い事業を企画するなど、法政大学のグローバル化への対応に配慮しながら、より一層社会に貢献していくことが期待される。

また内部質保証についても、研究所運営主体とは異なった関係者による内部質保証を充実させ、より厳格な PDCA サイクルを機能させる取り組みにも期待したい。